

報告タイトル (Title)

「海外直接投資との長期取引関係による地場企業の GVC への参入動向: インド自動車産業を例として」(仮)

氏名 (Name) 古田 学 所属 (Belongs) 愛知学院大学経済学部

1. キーワード (Keywords) ※5つ程度:

インド、海外直接投資、グローバル・バリュー・チェーン、自動車産業、オートバイ産業

2. 要旨 (Abstract) ※和文 1,000 字程度, 英文 400 語程度

本稿では、インド自動車・オートバイ産業における国内外資完成車メーカーが現地サプライヤーに与える影響を、現地サプライヤーのグローバル・バリュー・チェーン(GVC)への付加価値の高い段階への参入という観点で考察する。具体的な手法としては、1997年から2016年までのインド自動車部品工業会(ACMA)のデータを用い、各自動車・オートバイ部品企業のインド国内及び国外の完成車メーカー、サプライヤーとの取引情報を使用し、国内外資完成車メーカーとの取引が GVC の参入に与える影響を実証的に考察した。また、各企業の売上、輸出額、労働生産性に与える影響に関しても、国内外資完成車メーカーとの取引によ

ってどのように影響を受けるのかも検証した。

分析の結果、特定の国内外資完成車メーカーとの取引の継続により、GVC の付加価値のより高い段階での参入を可能にしていることが示された。特に、インド市場においては、自動車では、スズキ自動車、オートバイでは、ホンダ2輪の存在が大きい。それは、市場シェアをそれぞれ半数近く占めているだけでなく、現地サプライヤーの育成という観点においてインド自動車・オートバイ産業における役割が大きいことが示された。また、既存研究で言われているように、国内外資完成車メーカーとの取引は有意に売上、輸出額、労働生産性を高めることも確認された。

GVC に関する先行研究では GVC での現地企業の成長は先進国バイヤーの指導によるものとされている。また、海外直接投資(FDI)に関する研究においては、外資の参入が情報漏えい(スピルオーバー)効果を通して、現地企業のパフォーマンスを高めると考えられていた。しかし、それらの研究の橋渡しをする研究はこれまで見ることはできなかった。そのなかで、本研究では海外直接投資が国内企業の成長を促し、GVC への参入を可能にしているという2つの研究の潮流の橋渡しをする結果を示しているものと考えられる。

海外直接投資の参入による受入国への効果として、海外直接投資による取引企業の育成が、当該国での成功だけでなく、輸出拠点になっていく上でも重要であると考えられるので、政策提言としては、現地企業の発展まで考慮した外直接投資の参入の仕方が特に途上国においては重要であると言えよう。

3. 研究目的 (Objective or purpose)

グローバル・バリュー・チェーン(GVC)と海外直接投資との関係を考察。

4. リサーチ・クエスチョン (Research question)

海外直接投資による現地サプライヤーに対する指導がグローバル・バリュー・チェーンでの付加価値のより高い段階への参入への手助けとなっているのか。

5. 研究デザインと方法論 (Research design/methodology)

1997年から2016年までのインド自動車部品工業会(ACMA)のデータを用いた実証的研究。

6. 発見事実 (Findings)

特定の国内外資完成車メーカーとの取引の継続により、GVCの付加価値のより高い段階での参入を可能にしていることが示された。

7. インプリケーション (Theoretical/managerial implications, Research

contribution) ※理論的, 実務的な観点など, 本研究の主な貢献

GVC に関する先行研究では GVC での現地企業の成長は先進国バイヤーの指導によるものとされている。また、海外直接投資(FDI)に関する研究においては、外資の参入が情報漏えい(スピルオーバー)効果を通して、現地企業のパフォーマンスを高めると考えられていた。しかし、それらの研究の橋渡しをする研究はこれまで見ることはできなかった。そのなかで、本研究では海外直接投資が国内企業の成長を促し、GVC への参入を可能にしているという 2つの研究の潮流の橋渡しをする結果を示しているものと考えられる。

8. 独自性と価値 (Originality/value)

この研究の独自性は、海外直接投資の与える影響を国内だけでなく、グローバル・バリュー・チェーンの中に見出した点にある。これまで、GVC 研究と FDI 研究は別々の潮流にあったが、その橋渡しをした点にこの研究の価値があると考えられる。

9. 限界と今後の研究課題 (Limitations / future research directions)

本研究では、質的なアップグレードを GVC への参入の段階として捉えているが、製品の質の観点からのアップグレードという点についても考察する必

要があるであろう。また、GVC への参入に関しても、輸出の面での参入としており、輸入に関する側面に関しては分析ができていない。今後の展望としては、現状 1997 年から 2016 年までのデータにしかアクセスできていないが、直近までデータを延長し、2006 年から分かるインド自動車部品企業の直接海外投資の状況についても分析を行いたいと思っている。